

校長だより

福津市立福間東中学校
校長 猪股 清貴
平成 28 年 3 月 11 日 No51

3 年生は立派に巣立って行きました



「素晴らしい卒業式でしたね。感動しました」「本当に卒業生の姿が素晴らしかった」「素敵な子どもたちですね」これらの言葉は、卒業式の後、来賓の方々からいただいた言葉です。左の写真は式が終わった後に、3年生全員による別れの歌を披露しているところです。式に参列した吹奏楽部、各クラス代表、そして、生徒会役員の皆さんは立派に巣立っていった3年生の姿を目に焼き付け、そして胸にしっかりと刻み込

んだことだと思います。卒業生代表答辞の中で松崎君が次のようなメッセージを残してくれています。

『在校生の皆さん、これからは皆さんがこの学校を引っ張っていくのです。「テスト嫌だなあ」とか「授業面倒だなあ」とか今は思っているかもしれませんが、でも、3年生になると、一つ一つの行事が中学校生活最後のものとなり、皆とても一生懸命になります。そんな時に、少しでも僕たち先輩のことを思い出してくれたらうれしいです。そして、自分たちらしい新たな東中を創って行ってください。』



東中のことは私たちに任せてください

卒業式では、在校生を代表して生徒会長の梶木さんが送辞を述べました。その一部を紹介します。『私は先輩方が一生懸命に努力している姿を何度も見ました。職員室の前で勉強の質問をしている姿。朝早い時間や放課後に教室で勉強をしている姿など、先輩方は私たちに努力して最後までやり遂げる姿を示して下さいました。

最高学年としての意識の高さを実感します。今まではそんな先輩方を目標に進んでいけばよかった私たち。しかし、明日からは私たちが最高学年としての姿を後輩たちに見せなければなりません。先輩方が築いてこられた伝統を受け継ぎ、よりよい東中にしていきます。』

左の写真は校門前の掲示板です。生徒会の心強いメッセージで卒業生を送り出しました。いよいよ、在校生諸君の出番です。これまでの卒業生が築いてきた東中の伝統を更に良いものにしていくことが皆さんの使命です。

